

# 県高校総体中止に伴うわかとり夢の特別大会開催状況一覧

体育保健課

## 開催の競技

6月23日(火)時点の予定。今後変更の可能性あり

種目	開催時期	会場	開催方法又は開催可否(理由)
1 自転車	6月7日(トラック)	倉吉自転車競技場	会場を改修するため、特例的に早期に開催。
	7月12日(ロード)	倉吉市高城小学校周辺	初心者23Km、中・上級者43Km
2 バレーボール	6月13日(東部) 6月14日(西部)	各学校(会場未定)	各地区で開催。中部地区は、合同練習会として開催。
3 サッカー	6月13日・14日・20日	パードスタジアム ドラドラパーク東山球技場 各学校	地区大会で開催。中部地区は、7月中開催。
4 ボート	6月13日	鳥取市湖山池ボートコース	レース数を減らし、1日に短縮して開催。
5 テニス	6月13日 予備日21日	コカ・コーラボトラーズジャパン スポーツパークテニス場	3年生のみの個人戦で開催。ただし、ダブルスで3年生のペアとして1名のみ1、2年生の参加を認める。
6 登山	6月13日	大山	登山行動のみ、1日に短縮して開催。
7 カヌー	6月13日	東郷湖カヌーコース	競技団体の大会と兼ねて開催。
8 卓球	6月14日	倉吉体育文化会館	3年生のみで開催。
9 ソフトテニス	6月20日・21日	南谷テニスコート他	6月13日中部地区予選(南谷)西部地区予選(東山)、14日東部地区予選(布勢)を個人戦のみ開催し、規模を縮小して県大会(個人戦、団体戦)を開催。
10 フェンシング	6月20日・21日	鳥取工業高校	従来の方で開催。
11 バスケットボール	5月下旬～6月	各地区会場(会場未定)	中央競技団体方針で、6月中は公認審判員派遣不可のため大会ではなく、合同練習として各地区で開催。
12 レスリング	6月14日	倉吉総合産業高校	中央競技団体作成のトレーニングガイドラインにより複数での接触を伴った練習が本県では可能であるため、合同練習会として開催。
13 ウェイトリフティング	6月20日	各校練習場	各校で記録会を行い、記録を集約して順位を出す。
14 弓道	6月21日まで	各校練習場	各校で県総体要項通りに記録を取り、集約して順位を出す。
15 相撲	7月4日	鳥取城北高校	従来どおりの試合形式で開催。
16 陸上競技	7月4日・5日	コカ・コーラボトラーズジャパン スポーツパーク陸上競技場	2日間の日程に短縮して開催。
17 水泳	7月11日・12日	県営東山水泳場	従来どおりの試合形式で開催。
18 体操	7月12日か18日	米子産業体育館	開催の方向で検討中。方式は未定。
19 バドミントン	7月11日・12日	鳥取産業体育館	3年生を中心とした団体戦のみで開催。
20 剣道	7月25日	県立武道館	3年生のみの参加とし、専門部でチームを編成し、紅白戦として団体戦のみを実施。
21 柔道	8月1日	鳥取市武道館	開催は可能となったが、県内で感染者が確認された場合、中止となる。
22 ソフトボール	8月1日・2日 予備日3日	倉吉東高校 倉吉総合産業高校	男子は参加チームが少ないため練習試合とし、女子のみ大会として開催。
23 ライフル射撃	8月9日	県営ライフル射撃場	従来の方で開催。
24 空手道	8月上旬	西部地区	練習の状況を見て、従来の方で開催。
25 ホッケー	-	八頭高校ホッケー場	八頭高校のみのため、紅白戦で開催。
26 ヨット	9月5日・6日	境港公共マリナー	従来どおりの試合形式で開催。

## 開催を断念した競技等

種目	開催時期	会場	開催方法又は開催可否(理由)
1 新体操	-	-	すでに次の大会(新人戦)に向けて練習開始。大会ではなく、各学校で演技会として開催することも調整中。
2 ハンドボール	-	-	密となる場面が競技の特性上多くあり、感染防止対策が十分に取ることができないため。
3 ラグビーフットボール	-	-	花園があるため、開催しない。
4 ボクシング	-	-	中央競技団体より大会参加について十分な練習(概ね2ヶ月以上)ができていない場合は、大会参加不可となっているため開催が難しい。
5 アーチェリー	-	-	大会が中止になり、練習できない状況が続いたため、開催が難しい。
6 なぎなた	-	-	密となる場面が競技の特性上あるため、安全性の確保の観点から、開催が難しい。
7 定通制	-	-	十分な練習ができていないため、開催が難しい。